

# 日置市 議会 だより

平成21年  
11月 第18号

## 9月定例会 主な内容

- 出産育児一時金を42万円支給…… P 2
- 委員会報告（補正予算） …… P 4
- 請願・陳情／特別委員会設置  
    ／議会のうごき…… P 7
- 一般質問…… P 8
- 行政視察／所管事務調査報告…… P 14
- 傍聴席から  
    ／傍聴案内・編集後記…… P 16

〒899-2592 鹿児島県日置市伊集院町郡一丁目100番地  
TEL (099) 273-2111 / FAX (099) 273-3063  
<http://www.city.hioki.kagoshima.jp>



お芋がたくさんとれたよ!! (東市来・鶴丸小)



# 少子化対策で出産育児一時金を42万円支給!!

9月定例会を9月8日から30日まで23日間開催し、条例・予算議案など20件、意見書1件を可決しました。

また、平成20年度の決算認定17件は、決算審査特別委員会を設置して、閉会中の継続審査としました。

## 議決された議案

### 一部改正

#### 国民健康保険条例

##### 《主な内容》

出産育児一時金の金額が、平成21年10月1日から23年3月31日までの間に出生した場合は、現在の35万円が39万円となる。ただし、  
\*産科医療保障制度に加入している医療機関での出生の場合は、3万円が加算され42万円になる。

##### 《全会一致で可決》

#### 農村センター条例

##### 《主な内容》

同条例中の「日吉農村婦人の家」の名称を「日吉農村センター」に変更する。

##### 《全会一致で可決》

※産科医療保障制度：分娩、出産によって発生した重度脳性麻痺児に対する保障制度

### その他議案

#### 訴えの提起

市税等（市県民税・国民健康保険税）滞納処分で差し押さえた過払金債権に対して支払い請求の訴えをする。

#### 《主な内容》

訴えの相手方  
・プロミス(株)  
・アコム(株)  
・(株)武富士

##### 《全会一致で可決》

### 人事案件

人権擁護委員の候補者の推薦につき議会の意見を求めることについて

現委員が平成21年12月31日で任期満了になるので、新たに候補者として推薦するため議会の意見を求める。  
久保 文男氏（東市来）

##### 《全会一致で適任》



子どもは未来の宝物です！

## ●一般会計・特別会計

△は、マイナス

会計名	補正額	補正後予算	採決の状況
一般会計	9億9604万7千円	231億8440万2千円	全会一致で可決
国民健康保険	△8275万1千円	66億9476万1千円	全会一致で可決
老人保健医療	147万2千円	1102万5千円	全会一致で可決
特別養護老人ホーム事業	2083万3千円	3億1119万2千円	全会一致で可決
公共下水道事業	0円	5億4344万1千円	全会一致で可決
農業集落排水事業	0円	3951万6千円	全会一致で可決
国民宿舎事業	△201万円	2億5556万4千円	全会一致で可決
国民保養センター及び老人休養ホーム事業	347万4千円	612万1千円	全会一致で可決
温泉給湯事業	592万4千円	1123万8千円	全会一致で可決
公衆浴場事業	80万7千円	1075万6千円	全会一致で可決
介護保険	1億34万4千円	44億4810万円	全会一致で可決
後期高齢者医療	458万2千円	6億89万7千円	全会一致で可決
診療所	△98万6千円	3億6842万8千円	全会一致で可決

## ●公営企業会計

会計名	補正額	補正後予算	採決の状況
水道事業	資本的収入	1065万円	全会一致で可決
	資本的支出	2205万8千円	

# クローズアップ 9月補正予算の主な事業

## ☆地域づくり振興事業……………1億2900万円

内容：26地区公民館の地域づくり事業として、防犯灯やロードミラーの設置、市道や農道などの補修、河川の寄り州除去、美山地区館の野外ステージの設置、妙円寺団地の街区案内図等の設置などを行う。

## ☆乗合タクシーの実証実験……………100万円

内容：伊集院2路線（上神殿線、久木野々線）、吹上2路線（平鹿倉・湯之元線、日添・田之尻線）で実証実験を行う。

## ☆携帯電話等のエリア整備

……………2億6898万円

内容：携帯電話の不通話地域解消のため、東市来（郷戸）、吹上（永野、田之尻、日添、今木場、竜之瀬、平鹿倉）の7基地局を整備する。

## ☆クリーンセンター焼却施設の補修

……………3200万円

内容：クリーンリサイクルセンター焼却施設（焼却バグフィルター、焼却施設製管、粗大ごみのライン排出コンベア）の補修工事。



東市来中に設置している太陽光発電



地域の要望が多いロードミラー

## ☆農道等施設整備の補助金 ……1270万円

内容：農道などの施設整備20ヵ所分に対する補助金。

## ☆デジタル防災行政無線電波伝播調査

……………610万円

内容：防災行政無線をデジタル化で市内統一するため基地局、中継局の設置位置を調査する。

## ☆小中学校の理科教育設備の整備

……………2550万円

内容：小学校19校、中学校7校の理科実験用道具を整備する。

## ☆小学校校舎の耐震診断調査など

……………1357万円

内容：伊集院北小4棟、伊作小4棟の耐震診断調査や伊作田小、飯牟礼小、伊作小、和田小の耐震補強工事の監理委託料。

## ☆伊集院中太陽光発電工事

日吉中耐震補強工事 ……1億3112万円

内容：伊集院中の太陽光発電（50kW）工事と日吉中の耐震補強工事費用。



# 議案審議の中身は？

## 常任委員会 審査報告

### 総務企画常任委員会

#### 一般会計補正予算

9億9604万7千円を追加して、総額231億8440万2千円とするものである。

歳入の主なものは、個人市民税や固定資産税の減など1億6219万5千円の減額。地方特例交付金は

1548万7千円の増額。

地方交付税は2億735万5千円の増額。国庫支出金は3億5568万7千円の増額。県支出金は2億90

21万1千円の増額。財産収入は藤元工業団地などの市有地売り払い収入1370万5千円の増額。

財源調整のために市債を

2620万円

充てている。

歳出の主な

ものは、総務

費で携帯電話

不 통화地域解

消事業、乗り

合いタクシー

実証実験、テ

レビの辺地共

聴施設の整

備、26地区の

振興のための

事業など3億

8036万3

千円の増額。

商工費で小松

帯刀ゆかりの園林

寺跡駐車場整備な

ど1082万円の

増額、消防費でデ

ジタル防災行政無

線電波調査委託料

など739万円の

増額などである。

万円の減だが、これまでの比較はどうか。

答▼18年、19年と課税標準額は下がってきている。今年はその以上の落ち込みと

の比較はどうか。

答▼18年、19年と課税標準額は下がってきている。今年はその以上の落ち込みと

の比較はどうか。

答▼18年、19年と課税標準額は下がってきている。今年はその以上の落ち込みと

の比較はどうか。

答▼18年、19年と課税標準額は下がってきている。今年はその以上の落ち込みと

の比較はどうか。

答▼18年、19年と課税標準額は下がってきている。今年はその以上の落ち込みと

の比較はどうか。

答▼18年、19年と課税標準額は下がってきている。今年はその以上の落ち込みと

の比較はどうか。

答▼18年、19年と課税標準額は下がってきている。今年はその以上の落ち込みと

の比較はどうか。

答▼18年、19年と課税標準額は下がってきている。今年はその以上の落ち込みと

の比較はどうか。

答▼18年、19年と課税標準額は下がってきている。今年はその以上の落ち込みと

の比較はどうか。

答▼18年、19年と課税標準額は下がってきている。今年はその以上の落ち込みと

の比較はどうか。

答▼18年、19年と課税標準額は下がってきている。今年はその以上の落ち込みと

の比較はどうか。

答▼18年、19年と課税標準額は下がってきている。今年はその以上の落ち込みと

の比較はどうか。

答▼18年、19年と課税標準額は下がってきている。今年はその以上の落ち込みと

の比較はどうか。

答▼18年、19年と課税標準額は下がってきている。今年はその以上の落ち込みと

の比較はどうか。

答▼18年、19年と課税標準額は下がってきている。今年はその以上の落ち込みと

の比較はどうか。

の比較はどうか。

答▼18年、19年と課税標準額は下がってきている。今年はその以上の落ち込みと

の比較はどうか。

答▼18年、19年と課税標準額は下がってきている。今年はその以上の落ち込みと

の比較はどうか。

答▼18年、19年と課税標準額は下がってきている。今年はその以上の落ち込みと

の比較はどうか。

答▼18年、19年と課税標準額は下がってきている。今年はその以上の落ち込みと

の比較はどうか。

答▼18年、19年と課税標準額は下がってきている。今年はその以上の落ち込みと

の比較はどうか。

答▼18年、19年と課税標準額は下がってきている。今年はその以上の落ち込みと

の比較はどうか。

答▼18年、19年と課税標準額は下がってきている。今年はその以上の落ち込みと

の比較はどうか。

答▼18年、19年と課税標準額は下がってきている。今年はその以上の落ち込みと

の比較はどうか。

答▼18年、19年と課税標準額は下がってきている。今年はその以上の落ち込みと

の比較はどうか。



増築が予定される第二白百合保育園（伊集院）

はできないのか。

**答**▼他の課からの依頼もあり利用回数は多い。経費は、業者の場合1m当たり千円程度だが、それより安いと思う。使用は地区館行事程度を考えている。

**委員の意見として**

公共性の高い自治会や団体イベントで使用する横断幕等の作成は、いくらが費用を徴収しても、行政で対応することが、身近な住民サービスにつながるの検討して欲しい。

**国民健康保険特別会計補正予算**

歳入の主なものは、負担金や交付金等の交付額見込みによる増額補正。

歳出の主なものは、拠出金や納付金等の決定による増額補正などである。

**質疑の主なもの**

**問**▼出産育児一時金の支給

手続きは。

**答**▼今までは直接保険者へ、本人または代理人が請求していたが、10月1日からは医療機関が国保連合会を通じて保険者へ申請する形が原則となる。また出産にかかった費用の差額分は直接本人が医療機関へ支払うことになる。

**老人保健医療特別会計補正予算**

補正の主なものは、平成20年度支払基金医療費交付金の確定による増額補正などである。

**特別養護老人ホーム事業特別会計補正予算**

歳入は、施設介護サービスの収入増、前年度からの繰越金確定に伴う増額補正。

歳出は、基金積立と予備費への充当による増額補正である。現在の待機者は、30〜40人である。

**温泉給湯事業特別会計補正予算**

補正の主な内容は、温泉法の一部改正でメタンガス

除去のための設備設置工事などである。

**公衆浴場事業特別会計補正予算**

20年度の繰越金確定に伴い、基金へ積み立てるための補正である。

**介護保険特別会計補正予算**

歳入の主なものは、介護給付費等、前年度繰越金、確定に伴う補正である。

歳出の主なものは、医療・介護高額自己負担合算制度に伴い、平成20年4月から平成21年7月までの16カ月分を対象に、高額介護サービス費から高額医療合算介護サービス費へ組み替えるための補正などである。

**質疑の主なもの**

**問**▼医療・介護高額自己負担合算制度に対する財源内訳はどうか。また、制度導入により、全体的に負担が増加すると思うがどうか。

**答**▼通常の介護保険サービス費で支給し、財源の負担率は国25%、支払基金30%、県12・5%、保険料20%である。この事業導入により、増えるのは間違いない。今

後のサービス利用者の増加により、3年後の介護保険料がどうなるか危惧している。

**後期高齢者医療特別会計補正予算**

保険料滞納繰越と保険料繰越の確定額を広域連合へ納付するための補正である。

**質疑の主なもの**

**問**▼保険料の滞納状況と長期滞納者の実態は。

**答**▼滞納は103人で金額は304万9800円である。その後、納入した人も

いる。現在の短期保険者証の交付者が13人である。制度が始まって1年目であるので、長期滞納者へ発行する資格証明書の発行はない。

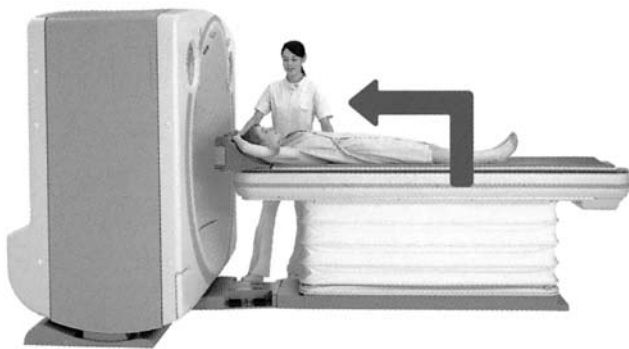
**診療所特別会計補正予算**

歳入の主なものは、一般会計からの繰入金金の増額、入札執行残に伴う起債の減額である。

歳出の主なものは、ネットワーク移設工事費、眼底検査装置購入に伴う増額補正である。

**問**▼予算額に対し、執行残の額が多い理由は。

**答**▼CT装置は当初見積をとった時は1億円程度であったが、入札により1600万円まで下がった。



診療所に導入予定のCT装置



# 産業建設常任委員会

## 一般会計補正予算

歳入の主なもの、国の地域活性化公共投資臨時交付金、平成20年度に積立てた地域づくり振興基金からの繰入金などである。

歳出の主なもの、農林水産業費関係で、かごしま茶産地拡大チャレンジ事業で生葉流量計・蒸器導入、産地づくり対策事業で茶の防霜施設、いちご育苗施設整備、河川工作物応急対策事業で伊集院下井手地区の頭首工・可動堰の基本設計、20カ所の農道等施設整備補助事業、緊急雇用対策林道管理作業、県営補助治山事業、森林高性能機械導入、吹上漁港航路浚渫工事などである。

土木建設費関係で、地域づくり振興事業、公営住宅駐車場整備及び排水路改良工事などである。

**質疑の主なもの**

**問**吹上町アスパラガス生産部会への害虫対策用の防虫ネットの財源内訳は。また本市の重点作物は、アスパラガス以外は何か。またアスパラガス生産部会の状況は。

**答**本市の重点作物は、イチゴ、アスパラガス、ソリダゴなどである。財源は、市単独である。生産部会は会員数10人、会員でない生産者が3人の計13人。販売額は経済連・直売所等を含め4500万円程である。今後生産量を現在の1.4トンから2トンに増やすの目標にしている。

**問**近年、茶の価格低迷で生産者、茶工場関係者が大変苦しんでいる。状況と対応は。また消費拡大のためのPR、二次加工品の新商品開発への対応は。

**答**本市のお茶は昨年度比、量で1割、価格で16%の減である。県・市とも産地拡大と低コスト、高品質に取り組むため、支援金を出している。また、PR活動も茶業青年部が新茶の時期に物産館などで行っている。今後もイベントなどを活用して消費拡大に努力したい。また、商品開発は、生活改善グループなどで終っている状況であり、今後十分検討していきたい。

**問**合併前に東市来・吹上で、上限額を決めた産業振興事業があったが、現在はどうなったのか。

**答**農道等施設整備事業として、上限100万円、道路80%、水路関係70%の補助で事業をしている。要望件数が多く、1件当たりの金額を少なくして多くの箇所を実施できるようにしている。

**問**緊急雇用対策の林道管理作業の実績は。

**答**今年2月から雇用している。多い時で8人、現在は3人である。今回は10月から3月までの雇用を5名見込んでいる。



高山秋まつりでの日置茶のPR

**問**国の地域活性化・生活対策臨時交付金を財源とした地域づくり振興事業は、今年度中に事業を完了しないといけないが、執行の方法や工事の進め方はどうするのか。

**答**事業費に差がある。水路・農道などの要望が多いので、周辺の自治会分を100万円前後にまとめ、10月頃に入札。完了予定は翌年2月。

**問**渇水問題が深刻である。本市の現状と対策は。

**答**産業建設部を中心に渇水対策本部を設置した。現在、街路樹の散水作業、東市来地域での節水の呼びかけなどを行っている。水田は今ところ被害報告はないが、ため池などの水が少ない状況である。今後は、日置南部の中山間総合整備事業の中で、ため池整備も含めた対策を

**問**20年度からの国の補助金を活用した新規事業の進捗率が悪い。政権交代もあり、今後公共事業の厳しい見通しの中で、状況はどうか。

**答**道整備交付金事業は今年度完了である。執行率は、68%で全体の事業費は決まっている。20年度からの新規事業は、実施設計のみの段階である。今年度用地買収、補償をする予定。22年度から本格的に工事発注をする計画である。

**問**公営住宅と一般住宅で、修繕費用の入居者と市との負担のあり方はどうなっているか。

**答**市は、経年劣化による

修繕など維持管理にかかる分、入居者は、たみ・ふすまなど生活にかかる分を負担する。

**問**妙円寺団地の住居表示板設置は、各戸に表示しないのか。また他の団地からの要望はないのか。



水不足で枯渇したため池（吹上・小永吉池）点線は平常水位

**答**妙円寺地区からの要望は街区番号のみであった。道路の三叉路・四差路の角地に約1100カ所、案内図を3カ所ほど、土地家屋の所有者の承諾をもらいながら設置する。

公共下水道事業特別会計補正予算

主な内容は、20年度の繰越金確定による歳入内訳の組替えである。

農業集落排水事業特別会計補正予算

主な内容は、20年度の繰越金確定による。

水道事業会計補正予算

恋之原地区（伊集院）簡易水道に新たな第3水源を整備するため増額補正するものである。

# 請願書・陳情書はこうなりました！

9月定例会で審議された皆さまからの請願書・陳情書の審議結果は次のとおりです。

請 願 書 ・ 陳 情 書					
件 名	提 出 者	付 託 先	結 果	紹 介 議 員	結 果
外部監査委員の導入を求める件	渉 秀憲	総務企画 常任委員会	不採択 《賛成3、反対18》		
教育予算の拡充を求める意見書の採択要請にかかわる請願書	山下 博司	文教厚生 常任委員会	一部採択 《全会一致》	坂口 洋之	文部科学大臣・総務大臣・ 財務大臣

## 決算審査特別委員会が設置されました

平成20年度の決算を審査するため、地方自治法第110条および第233条に基づき「決算審査特別委員会」を設置しました。

目的は、歳入の確保がしっかりとなされているか、歳出が適正に執行されたか、などを決算書や成果報告書といった資料に基づいて審査し、住民に代わってその効果を評価するものです。そして、決算年度における財政運営が適正であったか、その計画性・弾力性・積極性を総合的に判断し、議会として次年度の財政運営の改善と健全化に役立てるよう、慎重な審議を行います。

この決算の審査結果は12月定例会で報告され、本会議で認定の採決を行う予定です。なお、委員会の定数は9人で、委員は次の通りです。

- |       |       |
|-------|-------|
| 委員 長  | 梶 康博  |
| 副委員 長 | 坂口 洋之 |
| 委員    | 池満 渉  |
| 〃     | 西薊 典子 |
| 〃     | 田代 吉勝 |
| 〃     | 花木 千鶴 |
| 〃     | 上園 哲生 |
| 〃     | 出水賢太郎 |
| 〃     | 山口 初美 |

### 議会の動き

8月18日	総務企画常任委員会	8月30日	全員協議会
	所管事務調査(市内)		第5回定例会
18日	文教厚生常任委員会		(最終本会議)
19日	行政視察(長崎県南島原市・福岡県大木町)	10月2日	広報編集委員会
21日	全員協議会	14日	決算審査特別委員会
9月1日	議会運営委員会	15日	決算審査特別委員会
8日	全員協議会		議会広報研修会
	第5回定例会		(鹿児島市)
	(第1本会議)	16日	決算審査特別委員会
9日	広報編集委員会	19日	決算審査特別委員会
	常任委員会		行政視察来庁
	(文教厚生・産業建設)		(兵庫県・赤穂市議会)
10日	常任委員会(総務企画)	20日	決算審査特別委員会
16日	第5回定例会	21日	全員協議会
	(第2本会議・一般質問)		広報編集委員会
17日	第5回定例会	22日	決算審査特別委員会
	(第3本会議・一般質問)	27日	行政視察来庁
18日	第5回定例会		(青森県・五所川原市議会)
	(第4本会議・一般質問)	11月5日	産業建設常任委員会
25日	議会運営委員会	6日	行政視察
29日	行政視察来庁		(長崎県庁・佐賀県唐津市)
	(茨城県・八千代町議会)	11日	文教厚生常任委員会
			所管事務調査(市内)

# 一般質問

# これから どうする！ 日置市

9月定例会では11名の議員が登壇し、  
日置市の未来を見据え質問を行いました。

## より良い市政を目指して



さかくち ひろゆき  
**坂口 洋之**  
議員

**質問1** 介護報酬3%アップで働く職員の雇用・労働条件は改善されたか

全国的に介護労働者の人手不足、人材不足が指摘されている。本市の介護現場の現状はどうか。介護施設等で働く職員からは「低賃金で重労働、将来に希望が見えない」という声も寄せられる。施設側からどのような要望があり、現状をどのように考えているのか。

**答弁1** 3%アップでは、施設運営の改善には必ずしも結びつかない。市長

職員定数では国の基準なので問題は無い。これまで2回にわたり介護報酬が4.7%引き下げられ、介護報酬も低く抑えられている現状で、どの施設も厳しい経



日置市中央公民館の障害者駐車場

営状況である。若い職員の定着率が低いという施設側の声もある。

**質問2** 国や県に介護職員の処遇改善を求めるときではないか

10月から介護職員の待遇改善を目指し介護処遇改善交付金事業が施行されるが、施設側からの申請主義である。この交付金も施設側から見ても問題が多く、2年半の暫定であること、交付金をもらうのに処遇改善計画や施設整備など経費負担も伴うので、施設側も二の足をふんでいる。自治体として国の介護報酬の負担割合を多くするなど改善を求めていくべきではないか。

**答弁2** 介護報酬を含め、国に負担率を高めることを求めたい。市長

**質問3** 職員の一部に長時間残業がある。どのように指導改善するのか

合併後職員が84人削減された。その一方、非正規職員の割合が多くなり、職員の負担は年々増えている。一部の課では休日出勤や夜9時を超えて仕事をこなさなければならぬ職員もいるようだ。どのように指導しているのか。

**答弁3** 所属長を含めて把握し、管理指導し改善に努める。市長

**質問4** ※パーキングパーミット制度の啓発の充実を

11月より障害者専用駐車場の許可制度がスタートする。本当に必要な障害のある人が障害者駐車場を使用できないケースがある。県の事業であるが、市としてどのように市民に啓発し理解を求めているのか。

**答弁4** 市の広報紙等で啓発し理解を求めていきたい。市長

※パーキングパーミット制度：身障者用駐車場の適正利用のため、本当に必要な人に利用証を交付する制度





にしぞの  
**西園 典子**  
議員

**質問1** 政権交代に発展した衆議院議員選挙をどうみるか

意見や立場の違う市民を二分した選挙だった。どのように考え、新政権に対してどう臨むか。

**答弁1** 地方重視の施策や社会保障充実を望む **【市長】**

不況や三位一体改革への不満が、変化を求める国民の関心を高めた。新政権の推移を見守り対応したい。

**質問2** は 施設入所者の不在者投票の管理

鹿児島5区の特別養護老人ホームで不正投票があった。また、日置市議会議員選挙時に、市内施設の不正投票を示唆した文書が出回った。投票に関わる一切を施設長が管理する性善説の制度である。高齢社会が進み老人ホームなどが増える中で、有権者の権利を公の責任として、



土地区画整理事業が進む湯之元第1地区 (向湯田)

どのように守るか。

**答弁2** 外部立会人を立てることも協議したい **【選管委員長】**

県の説明会で適切に執行されるよう指導している。立会人の希望は無かったが、透明性を図るため県とも協議したい。

**質問3** 新型インフルエンザ対策は十分か

県平均より医師数が少なく、妊婦の3割入院、脳症1割の死亡率、65歳以上4人に1人がインフルエンザで肺炎併発という統計がある。病院との連携、団体活動、非常時の市役所管理体制、肺炎球菌ワクチンの検討は。

**答弁3** 多方面から感染拡大防止と対応に努める **【市長・教育長】**

地理的条件や高齢化が高いため、3割から5割感染の可能性がある。団体活動などは自主判断を求めているが、咳エチケット・うがい・手洗いの感染防止を呼びかけ、保健所や学校・医師会などと連携している。肺炎球菌ワクチンは県内2自治体を実施しているが、国が研究しており国の動向をみて検討する。

**質問4** 湯之元の土地区画整理事業の状況は

様々な要因で虫食い状態の進ちよく状況だが、二重投資の懸念や生活に不便・不安があるようだ。優先順位の条件は。

**答弁4** 審議会の意見をきながら **【市長】**

山田川・旧国道、駅前・向湯田など工事しているが、住宅が建て混み、市民の権利も尊重しなければならず、集中工事が難しい。



とうふく  
**東福 泰則**  
議員

**質問1** 市道の管理及び不法投棄に対するパトロールの現状は

不法投棄対策のためか、美山・神之川線など路側帯を締め切り駐車できないようにしている。現状をどのように見ているのか。また一部を土木資材保管置場として利用しているが、管理はどうか。環境に対するモラル向上を図り、取り除く考えはないか。

**答弁1** パトロールの回数を増やし、適切に管理していく **【市長】**

不法投棄があつたを絶たない中、ゴミやタバコのポイ捨てなど火災予防や山林所有者等への迷惑を考え、やむをえず実施している。この路線は地域外からの通過車両も多く、モラルの徹底は難しい。ブロック等の撤去は現時点では、考えていない。今後路側帯の一部を広げるなどして、適切に対処し整理整頓に努めている。また土木資材等は景観上好ましくないので、他の場所に移転等の対策をとりたい。

**質問2** 公園の維持管理は万全か

市の管理する公園について、定期的な必要の都度維持管理はなされているか。また総合運動公園に大型遊具設置の考えはないか。

**答弁2** 来年度から年次的に進めていく **【市長】**

市では52カ所の都市公園を維持管理している。除草・芝刈り・植樹の剪定・ト



市道の路側帯の現状 (美山~神之川線)



イレの清掃・害虫駆除・高圧電気関係の保守点検等を委託している。都市計画団地内の遊具等は、職員が月1回程度巡回して、ネジの緩みなど点検している。砂場の消毒は、今年度は実施してはいないが、来年度から年次的に遊具の点検整備と砂場の点検・清掃・消毒を進めていく計画である。総合運動公園への大型遊具の設置は、大きな予算を伴うので今後検討したい。



くろだ すみこ  
**黒田 澄子**  
議員

**質問1** 期日前投票のシステム改善を

本市においては、合併5年目に入ったにもかかわらず、旧町時代と変わらず大変不便であると市民からの苦情が多い。本庁及び各支所でも投票できる体制整備はできないか。

**答1** どこでも期日前投票できる体制に  
【選管委員長】

これまで二重投票の恐れ等も考え、市民の皆様にご不便をきたしていたが、次の選挙より本庁及び各支所でも期日前投票ができる体制にしていく。

**質問2** 本市における新型コロナウイルス対策はどうか  
【ザ対策はどうか】

本市における病院の対応、タミフルやワクチンの整備状況、予防の啓発活動、学校での対策について伺う。

**答2** 医師会と連携して予防策に取り組む  
【市長・教育長】

厚労省の方針に準じて対応していく。公立小中学校には、来校者用に消毒液を設置。手洗い、うがい、咳エチケットの指導をしっかりと行っていく。

**質問3** 細菌性髄膜炎予防の、ヒブワクチンの公費助成はできないか

乳幼児がヒブ菌によって高熱を出し、重篤な障害を引き起こすことを予防するヒブワクチンに公費助成はできないか。

**答3** 国の定期接種化の見通しは、来年以降と聞いている  
【市長】

乳幼児の細菌性髄膜炎は重篤であると



期日前投票が本庁・各支所でできるようになります。

**質問4** 市内巡回バスの現況とデマンド交通システムの導入の考えはないか

巡回バスの利用が少なく、人の乗っていないバスを目的とする地域がある。巡回バスの利用現況はどうか。また、乗合タクシーなどデマンド交通システムの導入は考えないか。

**答4** 来年1・2月に乗り合いタクシーを一部地域で試験的に行う  
【市長】

巡回バスの運行回数が少ない伊集院・吹上の一部周辺地域の便数を標準化するために、乗合タクシーを試験的に導入する。その後、新しい交通システムを検討したい。

※デマンド交通システム：地元のタクシー会社や自治体の小型乗合自動車で、利用者を自宅などから目的地まで送迎する新しい交通システム。



なかしま あきら  
**中島 昭**  
議員

**質問1** 市内の運動施設を児童・生徒に無料開放すべき

市内には素晴らしい体育施設が多くある。昨年7月から市内全域統一された使用料金体系になったが、市内の児童・生徒には、この施設を無料開放してより多くの体験や経験をさせるべきである。県内外から日置市子育て支援策への視察が多くあるが、教育委員会と福祉関係の連携が良くとれているからである。使用料の軽減を図り、さらに子育て支援の充実を図るべきである。

**答1** 中学校の部活等で早く実現させたい  
【教育長】

平日の一般の方が利用されていない時間帯に、中学校の部活等では無料で使用出来るように検討していきたい。

**質問2** これからの大型投資に「日置市市民債」を活用すべき

日置市は今後、防災放送・下水道施設・し尿処理場・校舎建設・イントラネット事業など大型投資が控えている。市民の行政に対する参加意識の高揚を図り、市の資金調達が多様化を図るとともに、ペイオフ解禁の不安の中で、市民の有効な資金運用先を確保するために有効である。

**答2** 市民の有効な資産運用先として大きなメリットがある  
【市長】

課題もあるので、どの事業に活用したら良いのか色々な側面から検討していきたい。

**質問3** 支所の機能を充実させて総合支所方式を継続すべき

日置市が誕生して4年が経過した。この4年間は行財政改革を旗印に進めてきたが、支所周辺や地域は疲弊しつつある。市民が安心して暮らせる町は事故や事件、犯罪や災害を防ぐ事だけでは無い。庁舎は安心・安全のシンボルである。日置市の将来像が本庁方式ありきでは困る。

イントラ等最大限に活用して総合支所方式を継続すべきである「なぜこんな故郷にしたんだ」と気づいた時はもう取り返しがつかない。

**答3** 支所の職員を急激に減らすことにはない  
【市長】

18年に行政改革推進委員会から、また議会の行財政改革特別委員会からも本庁方式への移行を希望する報告があった。引き続き職員を削減しながら現状の職員体制を縮小していかなければならないが、本庁方式ありきでなく広く検討する。



商店街の中心に位置する吹上支所の外観





池満 いけみつ

議員 わたる 池満 渉

**質問1** 本市における「天皇陛下ご即位二十年」の奉祝事業の概要は

全国で奉祝事業が予定され、本市での事業も決定されつつあると思う。その概要と学校での取り組みは。また全市で国旗掲揚を徹底するなど祝意を盛り上げる為の広報はどうするか。

**答弁1** ビデオ上映やパネル展、DVDを活用する **【市長・教育長】**

本庁・支所に記帳所を設け、ビデオ上映とパネル展の開催。小中学校では総務省からのDVD「天皇陛下ご即位から二十年」を使い理解と敬愛の念を深めるよう周知した。11月12日が祝日になればと願うが、国旗掲揚も『市広報紙』などで広く呼びかけた。



議場に掲げられている国旗

**質問2** 衆議院議員選挙で不在者投票所での不正が発覚した。本市は大丈夫か

本市における不在者投票所の数と選挙事務従事者の内容は。また本市での不正防止策はどうなっているか。『選挙特報』を衆議院と参議院を間違えて印刷・配布した原因と防止策は。

**答弁2** 本市での不正はないが、今後更に厳正な投票を心がける **【選管委員長】**

市内に23カ所指定され、施設長が責任者となり、立会人も指定する。本市においては不正はないが、立会人の件など更に厳正に対応したい。『選挙特報』は発注の段階では間違いなかったが、校正の確認ができていなかった。今後は二重チェックなどで万全を期す。関係者に心からお詫びしたい。

**質問3** 社会情勢の変化など、市民の民意を的確に把握すべきだがどうか

政権交代もあり、社会情勢も変わった。合併後5年に入り、改めて市民の意向調査など必要では。財政の面からも『総合振興計画』の見直しや『指定管理施設』の廃止・縮小も検討すべきでは。公僕としての職員意識の高揚をどう図るか。

**答弁3** 新たな民意をアンケート調査等を実施し探りたい **【市長】**

23年度からの後期の総合振興計画は見直さざるを得ないし、指定管理施設は、より意欲的な事業者に依頼するが、すでに希望事業者からは新たな提案もきている。

社会情勢の変化・市民の暮らしなどから『アンケート調査』は実施したい。職員が民間の実態把握に努めるなど常に意識高揚に努める。



松尾 まつお

議員 きみひろ 松尾 公裕

**質問1** 総合支所と地区館のあり方を問う

市長の今後の方針では、地区館をより充実して地区館を中心に行政運営をし、支所を廃止するかのようなことを聞いているが、支所の重要性を考え継続していくことを基本に考えるべきではないか。また、地区館は今の体制で十分ではないか。

**答弁1** 支所の廃止は考えていない **【市長】**

支所の重要性は十分認識している。支所を廃止する考えは持っていないし、また廃止するということも言っていない。また、今後地区公民館を充実していくことは、不可欠なことと思う。

**質問2** 江口浜荘の今後の方針をどう考えるか

江口浜荘のあり方検討委員会の中継答申が出され、建物の老朽化や耐震性が指摘されている。地域から見れば各種のスポーツ大会、合宿の受入れ等、また宿泊、宴会ができる施設が必要と考えられるがどうか。

**答弁2** 民設民営で公募する予定 **【市長】**

指定管理者は平成22年3月で期限切れになる。今後は民設民営で公募する予定である。市で運営するのは難しい。

**質問3** 政権交代で本市への影響は

地方では景気回復、雇用の確保等が緊急課題である。今回の政府方針では、公共事業の削減、暫定税率廃止、農家の個別所得補償政策など、前政権とは180度の転換であり、本市の事業への影響が大きいと思うが。

**答弁3** 公共事業に影響があるか注視する **【市長】**

直接的に影響があるのは暫定税率廃止であり、本市では1・9億円の減収である。公共事業については、22年度予算にどう影響するのか注視していく。農家の個別所得補償については、今後の推移を見ていく。



今後のあり方が問われる江口浜荘



たかひし けんじ  
議員  
康博

質問1 休耕田の今後の展望は

気候変動やバイオエタノールの製造などで、輸入穀物の量、品質への不安から、休耕水田における新規需要米（麴用米・米粉用米・飼料用米・サイレージ用稲）が、平成21年度より本格栽培されている。本市の現状と今後の展望について伺う。

答弁1 今、国の施策や見直しの議論に注視している 【市長】

本市の現状は、麴用米24・26ha分を酒造2社、米粉用米10ha分を製麺業社と経済連、飼料用米1・3haとサイレージ用稲4・9haを自家用・畜産農家と契約し



今後期待される麴用米

ている。関係団体と一体となって、地産地消につながる新規需要米の栽培面積拡大に取り組む。特に焼酎の麴用米は、地元酒造メーカーから取り引きを強く求められ、産地確立交付金を活用しながら取り組みが、政権交代の今、政府がどのような見直しがあるのか対応を見極めたい。

質問2 新規需要米への対応はどのように考えているのか

焼酎の麴用米は、輸入米で賄われており、食用米との価格差が大きい。酒造元は、全量国産に変えるといわれている。伊集院院務署管内のメーカーだけでも6千トン、県内では約2万トンの米が必要といわれている。市と農協は連携して、農家への十分な説明が必要と思うがどうか。

答弁2 市として、どう助成できるのか、検討もしたい 【市長】

市内の酒造メーカー、製麺会社など地元業者と連携することは、意味がある。今年度は、水不足の地域もあるが、地産地消を含め取り組む必要がある。玄米で麴用米1kg当たり100円、米粉用米80円から100円を別途とされている。産地確立交付金、需要即応型事業を利用して、1kg当たり200円に近づけるように対応したい。事業者、農協、行政が一体となった協議会を設置しており、市単独の事業も十分な協議が必要である。

※サイレージ用稲：家畜のエサとなる飼料用の稲。



はなき ちづる  
議員  
花木 千鶴

質問1 環境問題について、市民との協働は

日置市環境基本計画が策定された。環境施策の推進に向けて、市民との協働をどのように図っていくのか。

環境基本計画の概要版を班回覧したが、市民への周知として十分であったか。環境モニターや環境リーダー、環境アドバイザー等の設置は考えないか。

答弁1 環境保全協働推進会議で協議する 【市長】

市民（公募）、事業者、専門家、有識者などで構成する環境保全協働推進会議を設置するので、いろいろな提案がなされると思う。市民への周知が十分でなかったと認識している。今後、内容を検討して、より一層の周知に努めたい。

質問2 太陽光発電への本市独自の補助金を

環境にやさしいエネルギー源として太陽光発電が脚光を浴びている。今年1月から国の補助金制度も復活した。県内の3市では市独自の補助金制度を設けて推進しているが、本市も考えないか。市民の意向調査もすべきではないか。

答弁2 2年内には補助したい 【市長】

重要性は認識している。県の補助制度も設けて欲しい。一般家庭の設置費用が高すぎるのでしばらく様子を見たい。2年間のうちには補助できるようにしたい。



環境基本計画の表紙

質問3 子ども版「環境ブック」「環境マップ」を作成できないか

各校の環境への取り組みが一目瞭然となる「環境マップ」や、市内の環境状況を解説した「環境ブック」を作成し、環境教育の推進を図ってはどうか。

答弁3 マップは早急に、ブックは来年度中に作成したい 【教育長】

マップは現在の活動を中心にまとめた。ブックは先生方の協力を得て検討したい。

質問4 環境自治体会議を本市で開催できないか

2千人位の参加が見込まれる会議だ。環境施策の推進だけでなく、経済効果も大きいと思う。開催地の負担はどうか。

答弁4 5年内の開催を目的に、首長会議に提案する 【市長】

会議は、会費と関係者の手づくりで行うため、開催地の負担は心配いらない。





たばた じゅんじ  
**田畑 純二**  
議員

**質問1** 日置市自治基本条例の制定について伺う

- ① マニフェストで掲げていたが、どのように作業を進め、いつ頃制定予定か。
- ② この基本方針と内容は何か。第1次総合計画と地域振興計画との位置付けは。
- ③ 地区公民館と3総合支所の将来は。
- ④ 自治体の現場力と自治体経営戦略は。
- ⑤ 地方自治の本質と日置市政の運営は。

**弁答1** 次年度から専門家等も交え作業を進め、制定は23年度末頃予定【市長】

- ① 過去2回一般質問したが、その後の検討状況は。
- ② 診療所運営審議会の内容と開催予定は。問題点は何で、どう対処していくのか。
- ③ 特別養護老人ホーム青松園のあり方検討委員会の提言報告書にどう対処するか。
- ④ これは市長のマニフェストの一部に合致しているが、どう考えるか。



現在建設中の日置診療所

※グループワーク：個人や集団が抱える問題に効果的に対処するため、グループ活動を通じて援助する社会福祉実践の一方策。

**弁答2** 4地域の施設を一カ所に集約して取り組むことは無理がある【市長】

- ① 日置診療所開設に向け工事を進めており、青松園へは民営化への提言がある。保健センターと地区公民館を進めている。
- ② 運営状況や診療所への移行作業について、今年度は10月中旬に開催予定。年2回。
- ③ 県内の公立施設の民間委託への動向を見極めながら時期的なものの検討していく。
- ④ 既に4地域にある整備された施設を活用しながら、取り組んでまいりたい。

**質問3** 日置市まちづくり塾の開設について

- ① 市民公募のまちづくり塾を開設しては。
- ② 本市の人材育成事業と具体的内容は。
- ③ これも市長のマニフェストの一部に合致しているのではないか。

**弁答3** 公募による市民グループ20人を想定している【市長】

- ① 共生協働による地域づくりで、地区公民館やNPOとのネットワーク化を図る。
- ② 地域リーダーの養成やまちづくり研究会を組織。
- ③ NPOや企業等多様な主体を活用する。



やまぐち はつみ  
**山口 初美**  
議員

**質問1** 新政権誕生を自治体づくりの好機と捉えるべきではないか

市民の願いが叶う自治体にするため、例えば「三位一体改革」のもとで減らされてきた財源確保の問題、またお母さん達の運動の続いている「保育園民営化」問題等の見解を伺う。

**弁答1** 新政権の動向を注視しながら対応していきたい【市長】

財源は要望する。保育園は市立保育園在り方検討委員会の答申にもとづき民営化を進めるが、その都度説明していく。

**質問2** 地域社会を支え、雇用を守る「社会的ルール」づくりを進めるべき

今、大企業の「雇用を守る社会的責任とルール」が問われているが、地元の大企業パナソニックはどうか。パナソニックからの申し出があり地デジテレビの購入を進めているが、全国的にパナソニック偽装請負訴訟があるのは承知しているか。日置市ではどうか。

**弁答2** パナソニックの従業員は現在609人【市長】

日置市内に居住が299人で市外が310人である。また、男性が516人、女性が93人である。本市において偽装請負の情報もなく実態もないと承知している。

**質問3** 国税の負担軽減を。資産割分は税金の二重取りでは

市長は国保税が高すぎるといふ声をどう受け止めておられるか。資産割を国保



日新小学校でのおいしい給食

に算入するのはなぜか。他の自治体はどうか。社保と国保の比較はどうか。基金の繰り入れで負担軽減できないか。

**弁答3** 高いと認識している【市長】

資産割を国保に算入していないのは鹿児島市・霧島市・奄美市である。社保は事業主の負担が半分であり、同一所得で比較した場合、国保が個人負担分は高くなっている。今のところ基金を繰り入れの引き下げは考えていない。

**質問4** 学校給食への地産地消をもっと増やすべきでは

農業活性化と食育推進のために地産地消を進めるべきだが、給食センターやそれぞれの学校で給食材料を現在どこから購入しているか。

**弁答4** 今後も地元産のものを取り入れたい【教育長】

現在もできるだけ地元業者から購入しているが、学校給食会からが約半分になっている。

総務企画常任委員会〔所管事務調査〕

# 市内の誘致企業の現状は

調査日：平成21年8月18日



## 《調査目的》

工業団地および誘致企業の現状調査と観光施設の現状。

## 《調査場所・結果》

藤元工業団地（吹上）

・鹿児島ケース(株)

吹上高校生を年次的に採用している。経済不況を乗り切り、企業間競争を勝ち抜くため、光ケーブルの整備が急務である。

・西酒造(株)

特産品として全国販売を展開している。

吹上高校生など地元採用も多く、甘しょや麴用米など関連産業と直結している。

・小松帯刀墓所

トイレ新設が予定されるが、駐車場の確保が必要。一過性に終わらない観光地

・小松帯刀墓所

・小松帯刀墓所

・小松帯刀墓所

・小松帯刀墓所

・小松帯刀墓所

・小松帯刀墓所

・小松帯刀墓所

・小松帯刀墓所

## 観光施設

・吹上温泉街

交流人口を増やし、「伊作えびす家」などの連携で、今後専門家を交えて調査・研究する必要がある。

・ゆーぷる吹上

夏休み中の利用は見込めるが、年間を通しての稼働率向上などに取り組む必要がある。

・小松帯刀墓所

トイレ新設が予定されるが、駐車場の確保が必要。一過性に終わらない観光地

・小松帯刀墓所

・小松帯刀墓所



の整備を期待したい。ボランティアガイドに敬意を表する。

## 《委員の感想》

不況下での進出企業の懸命な努力に、行政も見習わなければならないと痛感した。地元高校生も雇用され貢献度は高い。未分譲の工業団地の利用促進と、環境整備が急がれる。環境・安心・安全・信頼など基本の重要性を再認識した。

・小松帯刀墓所

・小松帯刀墓所

・小松帯刀墓所

・小松帯刀墓所

・小松帯刀墓所

・小松帯刀墓所

・小松帯刀墓所

・小松帯刀墓所

・小松帯刀墓所

・小松帯刀墓所

・小松帯刀墓所

・小松帯刀墓所

・小松帯刀墓所

・小松帯刀墓所

・小松帯刀墓所

## 文教厚生常任委員会〔所管事務調査〕

# 学校給食施設の

# 衛生管理状況は

調査日：平成21年7月31日

## 《調査目的》

日吉・吹上の学校給食施設の衛生管理状況と、日置南給食センター(仮称)移行後の給食の搬入経路と搬入場所の計画に衛生管理上の問題点がないか調査する。

## 《調査場所》

住吉小、日新小、日置小・附属幼稚園、日吉中、吉利小、花田小、吹上中、伊作小、和田小、永吉小、扇尾小。

## 《調査結果》

衛生管理では、ほとんどの施設で大きな問題点はない。しかし、一部で給食施設の設置場所等で保健所から指摘を受けている。また、どの施設も老朽化しており、近い将来、衛生面での課題が多く発生することが予測される。

そのような問題を解決す



るため、日吉・吹上地域は、平成22年の2学期から日置南給食センター(仮称)での一括調理方式をスタートする計画で、施設の建設が進められている。給食センター方式については、食育等のことで色々な議論があったが、給食施設で一番重要なことは完全ドライ方式による徹底された衛生管理である。そのため給食センター方式導入の必要性を再認識した。

※ドライ方式：給食室の床を乾いた状態で使用し、床からの跳ね水などによる二次汚染を防止することのできる給食施設。



産業建設常任委員会〔所管事務調査〕

# 公共事業の進ちよくと 管理の状況は

調査日：平成21年7月23日

《調査目的》

公共事業の進ちよく状況と各施設の管理状態の調査。

《調査場所・意見・感想》

・チエスト館

近隣に大型店舗の出店があり、競争激化を懸念しているが、単に過度の売上競争だけにまい進するのではなく、生産者を育成しながら、地産地消の特色ある運営を目指して欲しい。

・郡中央通り線（伊集院）

県の厳しい財政状況もあるが、通行量が多く、大型車も頻繁に通る。補償費もかかると考えられるが、県

に早期完了を強く要望して欲しい。

・笠ヶ野線、庄の中線（日吉）

財源の問題はあるが、市民の要望に応えられるよう努力を続けて欲しい。

・伊集院終末処理場

施設や機械の耐用年数が近づいている。それに対応する必要な財源確保を計画的に進めるべき。特殊な機械なので、随意契約での発注だが、契約方法の検討など、投資的経費を節減し、受益者負担が重くならないようにすべき。今後、つづ

じヶ丘団地の加入を考えると終末処理場の拡張整備等が課題となる。将来を見据えた基金の確保を図るべき。

・土地区画整理事業（湯之元第一地区）

交渉が難航している箇所もあり、事業が計画通りに進んでいない。地権者への説得が一番だが、住民に事業成果を考慮してもらおう機会や方法を見出すべき。河川

工事が3年程遅れている。早急に工事を実施すべき。

・江口蓬菜館

冷凍機の室外機が

海側にあるため、塩害対策を講じるべき。

・吹上地域中央簡易水道（浄水場）

浄水場はフェンスで周りを囲んでいるが、る過池など屋外にある。異物の投与なども考えられる。止水栓などが錆び付いている。点検確認は十分にすべき。

・県営かんがい排水事業（日吉）  
地権者や生産者に事業について良く理解してもらわなければならない。今後、受益戸数の減少が考えられ、受益者負担が増える可能性が高い。後継者育成が進む運営に力を注いで欲しい。



## 文教厚生常任委員会（行政視察） 環境に関する施設整備のあり方は

長崎県南島原市、福岡県大木町  
調査日：平成21年8月18日～19日

長崎県南島原市

《南有馬衛生センター》

平成2年、6町で構成する「南高南部衛生福祉組合」がし尿処理施設を建設し、平成4年3月から稼動。平成18年3月、8町合併で南島原市が誕生し、市直営になった。搬入区域は合併前と同じ旧6町分である。

福岡県大木町

《おおき循環センターくるるん》

循環のまちづくり拠点施設「おおき循環センターくるるん」は平成18年11月に完成。

《循環型地域づくりの主な施策》

・生ゴミや浄化槽汚泥、し尿と一緒に処理してバイオガスを発生させ、発電に利用して電気と温水を供給している。  
・年間6千トンの液肥を生産し、水稲や野菜づくりに使用。

・施設で排水処理された水は施設内の洗浄水や各家庭の浄化槽の張り水として再利用。  
・各小学校全部に太陽光発電を設置。各家庭の設置も4%を超えている。  
・循環のまちづくりは、住民との協働作業である。  
・燃えるゴミが5年間で67%削減、住民意識の高さを感じた。

《調査結果》

し尿処理施設のあり方について、委員より「単独で運営可能であれば、将来的に隣市に頼るより得策では」との意見が出された。その一方で、現在の組合は簡単に脱退できない。

「いい処理方法があってもゴ



ミ分別等に対する住民の意識が高くなければ難しい」など様々な意見が出された。これらの意見を総括した場合、本市の、し尿処理のあり方は、いろいろな選択肢を調査し、比較検討する必要がある。

また、エコ政策で大木町の場合、「まず行政が主導した形で、いろいろな角度から調査し、それを基に住民へ方向性を示し、理解と協力が得られる方策を講じている。このことで住民意識を高めると同時に、共生協働によるエコ政策が実現できている」との共通認識であった。



住吉地区高齢者学級  
(日吉地域)  
徳田 桂子

『秋晴れや傍聴席の  
混み合いへり』

私たち住吉地区高齢者学級生17名は、平成21年第5回市議会定例会初日の一般質問を午前中傍聴いたしました。一番目の議員の質問は、高齢者介護施設の現状とい

うことで、施設で働く職員  
の現状(人手人材不足)等  
の質問で、次に行政改革に  
よる職員不足で部署によっ  
ては事務量が増し残業が恒



50席ある傍聴席

常化している。現状把握の  
質問には、答弁も通り一遍  
で、少し違和感を感じまし  
た。  
二番目の議員の質問は、  
今回の衆議院議員選挙で施  
設入所者の不在者投票管理  
体制や新型インフルエンザ  
対策など、初めての傍聴で  
最初は皆さん緊張していま  
したが、議員の質疑や市長  
答弁に熱心に耳を傾け自分  
なりの納得ができたのでは  
ないかと思うことでした。  
また、機会あるごとに傍  
聴し地域住民と議会との連  
携を絶えず状況把握をする  
ことの大切さを知りまし  
た。

## 議会傍聴に 来てみませんか？

- だれでも自由に傍聴できます。
- 受付簿にご住所・ご氏名を記入していただくだけです。

**市民のみなさん、市内の公共施設で  
議会中継を見ることができます!**

《次の場所で議会中継を行っております》

市役所本庁1階ロビー、各支所1階ロビー、各地域中央公民館、  
各地区公民館、美山陶遊館、ゆすいん、市民病院、  
日吉保健センター、吹上砂丘荘

### 編集後記

秋空と山々の色着きが美しい季節になりました。

世は政権交代の大きなうねりの中で、期待と不安の混在するこの頃です。日置市や私達の生活も、少なからず影響を受けるかもしれず、政治と生活が直結していることを実感します。でも、政権交代を成したのは私たちの国民主権だという自信を持って、今こそ十分な情報公開を求めながら、国や地方の行く末にも向き合う時ではないでしょうか。「二人で見る夢は夢でも、みんなで見る夢は現実だ」の言葉があります。この議会だよりが、市民の皆様とともに日置市の夢を築く情報交換の場となることを心から祈念し、皆様の参加をお待ちしております。

《発行責任》 成田 浩 (西蘭)

《編集責任》

広報編集委員会

- 委員長 出水賢太郎  
副委員長 西蘭 典子  
委員 松尾 公裕  
中島 昭  
山口 初美  
黒田 澄子